

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-5-5 農山漁村の多面的機能の維持・発揮
---------	-----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農村整備課長 田和 貢	電話番号	0852-22-5176
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	中山間ふるさと・水と土基金事業		
目的	(1) 対象	県民等	
	(2) 意図	県民等が中山間地域等の農業や農村に関する関心を高め、農地等の保全活動に参加する。	
事業概要	中山間地域等の農業や農村に関する県民の関心を高め、農地等の保全活動への参加意識を高めるために「しまねの農村景観フォトコンテスト」やコンテスト入賞作品の巡回展などを実施する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 県民の理解度向上	目標値		14.0	14.0	14.0	14.0	回
		取組目標値						
	式・定義 代替：イベント等実施回数	実績値	14.0	15.0				%
		達成率	-	107.2	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	20,142	24,938
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基いた現状）

・平成28年度は、しまねの農村景観フォトコンテスト入賞作品巡回展の開催回数が11回にとどまったが、見学者・入場者については、平成27年度実績を上回る約18,100人（H27：約16,900人）となった。また、応募者についても、244名の方から675点（H27：188人、570点）の応募があり前年度を上回った。
 ・その他、棚田においてイベントを4回開催した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・巡回作品展の開催場所を集客が見込める施設としたため、見学者・入場者が前年度を上回った。また、著名な特別審査員を迎えPRしたこともあり、フォトコンテスト応募者・応募点数ともに増えた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

・巡回作品展について、会場の調整が付かず開催回数が昨年を下回った。県西部、隠岐からの応募入賞作品が少ない。

②困っている状況が発生している「原因」

・石見部・隠岐でのPRが不足している。

③原因を解消するための「課題」

・しまねの農村景観フォトコンテスト入賞作品巡回展の開催については、県内バランス良く開催できるよう検討するとともに、特に石見部及び隠岐での取組を強化する。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・ホームページやプレスリリース以外に、マスコミ媒体を有効に活用しイベントのPRを図る。また、巡回展等の開催場所を人が集まる施設や未開催地において実施する等調整し、PRを図る。
 ・平成28年度に迎えた著名な特別審査員の効果により、応募者数が増えたことから、今後も継続して依頼する。